

笠置町農業再生農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町は四方を山に囲まれ山地が80%を占める地形のため、農地は山腹丘陵地や谷間に開かれた小規模な農地が大半を占めている。そのため、農家のほとんどが小規模であり、主として主食用水稲、野菜の生産が行われているが、いずれも自給的で生産規模も小さく、高齢化に伴う担い手不足も深刻化している。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

適地適作を基本として、消費者ニーズに応じた品種の作付や需給動向を勘案して計画的な生産を行う。

(2) 非主食用米

ア 新市場開拓用米

産地交付金を活用し、米の新市場開拓を図る。

(3) 高収益作物（野菜等）

「花菜」「とうがらし」を振興品目として、技術指導により収量の安定及び質の向上を図り、作付け面積を拡大する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	14.9	14.9	14.9
その他地域振興作物	0.06	0.15	0.4
野菜			
・花菜	0.06	0.1	0.3
・とうがらし	0	0.05	0.1

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	現状値	目標値
				(29年度) 0.06ha	(32年度) 0.4ha